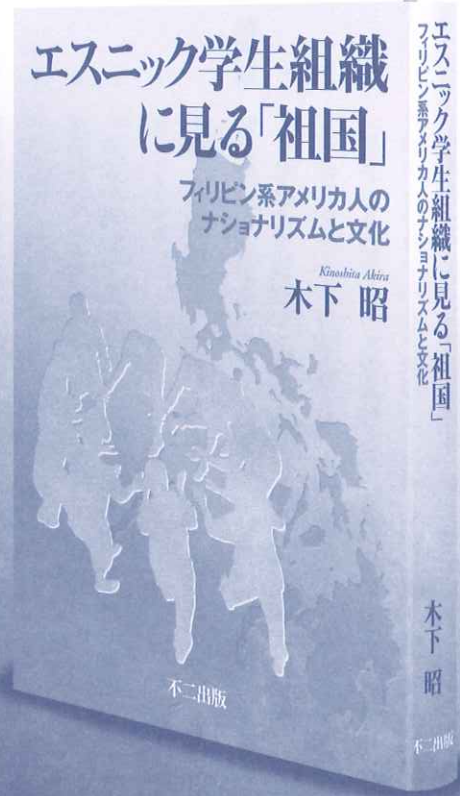


# エスニック学生組織 に見る「祖国」

## フィリピン系アメリカ人の ナショナリズムと文化



本書は、日本での先行研究がきわめて限られている、  
フィリピン系アメリカ人のアイデンティティを、  
フィールドワークをもとに、  
主にエスニック学生組織を考察対象として、  
エスニシティとナショナリズムの交錯、  
遠隔地ナショナリズムの形成を丹念に描いた好著！

木下 昭 著

●A5判・上製・340ページ

●定価——本体価格5,800円＋税

●2006年5月刊行 ISBN978-4-8350-6195-5

不二出版

れない移民たちのエスニシティを分析し、彼らがどのようなアメリカ人となっているのかの解明に寄与したい。

3 遠隔地ナシヨナリズムの展開—移民と祖国を結ぶもの

これまで提起してきた論点は、現代的な状況の中で、移民たちをこれまでのように居住国が国民にしてゆくことが可能かどうか、可能とすればどのような国民にしてゆくのか、であった。しかしこうした議論の立て方は、近年疑問視されることが多くなってきた。というのも、それは往々にして、居住国という一国民国家の枠組の中の議論に終始するからである(綾部 1993)。しかし現在は、グローバル化と呼ばれる、地球規模で展開される人間の活動が当然の前提とされ、この枠組が問い直されるようになってきた。

そこで、この変化を受け止める概念もいくつか提起されてきた。たとえば「トランスナシヨナリズム(transnationalism)」はその一例である。トランスナシヨナリズムは、その代表的な定義が「移民たちが、その出身社会と移住先の社会とを結びつける多様な社会的関係を築き、保持する過程」であることからわかるように(Basch et al. 1994: 7)、移民たちの国境を越えたさまざまな現象を表す言葉として使われている。したがってナシヨナリズムを超える現象、すなわちtransnationalismと表記しうる場合と、ナシヨナリズムの国境を越えた展開、すなわちtrans-nationalismと表記しうる場合の二つが並存、あるいは混合する形で用いられており、ナシヨナリズムに焦点をあてている本書では使用することが難しい。これは類似した形で使われる「ディアスポラ(diaspora)」の場合も同様である。ディアスポラは、移民がその出身国と居住国の間だけでなく、第三国に滞在する人々との間にも結ぶ、政治的、社会的、そして文化的関係を含めて議論するために用いられることが多い。こうした視野を保持することは今日必要であるが、本書は移民のナシヨナリズムを分析している以上、この点で彼らにとりわけ大きな影響と

序章

1 グローバル化時代の国民国家と移民—研究の目的と意義

2 研究の方法と対象

3 先行研究

4 本書の構成

第二章

国民とは何か、エスニシティとは何か—移民研究の視点から

1 国民国家とナシヨナリズム—アメリカ人とは誰か

2 エスニシティとエスニック・グループ

3 遠隔地ナシヨナリズムの展開—移民と祖国を結ぶもの

第三章

フィリピン系移民の歴史

1 フィリピン系アメリカ人の現状

第四章

大学におけるアメリカの多文化化—学生組織の活動とエスニック・スタディーズ

1 学生の多様化—学生組織の進学支援

2 エスニック・スタディーズの意義

3 大学の多文化化とその影響

4 学生組織とエスニック・コミュニティ

第五章

学生組織に表象されるエスニシティ—日系組織との比較から

1 オドリとタイコ

2 エスニシティの「定式化」と「希薄化」

3 象徴的エスニシティ

4 エスニシティのバウンダリー

第六章

告発されるフィリピン生まれへの「いじめ」

1 描かれる「生地間対立」

2 二つの植民地化と英語

3 内面化される「生地間対立」—女子学生の語りから

4 心の「脱植民地化」—転換点としての大学とその限界

第七章

民族舞踊とフィリピンの国民統合

1 舞踊の原型

2 脱植民地化と「伝統的」舞踊の創成

3 海外からの視線、海外への伝播

4 ムスリムの踊りに見る国民化のねじれ

第八章

渡米した舞踊とコロニアリズム

1 遠隔地ナシヨナリズムと多文化化

2 アメリカにおける民族舞踊の浸透

3 学生の舞踊に表象されるフィリピン

第九章

「国境を越えた」国民統合—フィリピン政府の移民政策

1 フィリピン系移民の「フィリピン人」化

2 移民国民化政策の「成果」

終章

よき祖国を求める学生たち—遠隔地ナシヨナリス

トを生み出す背景

1 学生とフィリピンとのつながり

2 遠隔地ナシヨナリズムと差別

3 遠隔地ナシヨナリスの思想と実践

終章

現代移民と国民国家

1 学生組織によるエスニシティの構築

2 エスニシティとナシヨナリズムの交錯

3 「新しい」民族舞踊、「新しい」自己表現

初出二覧／参考文献／資料／索引

著者紹介

木下 昭 (きのした・あきら)

1967年 大阪府に生まれる

2007年 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程共生文明学専攻修了

現在 立命館大学文学部非常勤講師 京都女子大学現代社会学部非常勤講師

著書 『地域研究の課題と方法—アジア・アフリカ社会研究入門実証編』(共著 文化書房博文社 2006年)

『日本帝国をめぐる人口移動の国際社会学』(共著 不二出版 2008年)

『中国残留日本人という経験—「満洲」と日本を問い続けて』(共著 勉誠出版 2009年) 他

外務省通商局編(大正11年、昭和6年刊)  
**移民地事情 全10巻・別冊1**

本誌は、中南米地域にブラジル・アルゼンチン・ボリビア・メキシコ・コロンビア・チリ・パラグアイ・ウルグアイ等についての、日本人移民地の「視察報告」を取りまとめ、不定期で全七冊刊行された。これらの各地域には、既に邦人移民が相当数定住しており、その地の詳細な地図と共に、彼等の生活状態を報告した。本書は、日本人移民地の実情を知る基本資料である。  
●別冊1解説(柳田利夫)・総目次  
●A5判・上製・総4・810頁  
●本体価格191,000円十税  
●99年11月〜00年12月配本完結(復刻版)

日本移民協会発行(大正3年〜大正8年刊)  
**日本移民協会報告 全2巻**

一九一四年二月に大隈重信を会頭として「日本移民協会」が設立された。本誌は同会の機関誌として、北米における日本移民の労働や就学状況調査、東南アジア・南米への移民の有望性・将来性、南洋諸島の移民地としての価値などを、移民に関わる幅広い論説と情報を提供している。  
●解説(坂口満宏)・総目次・索引付き  
●B5判・上製・総680頁  
●本体価格36,000円十税  
●06年9月刊(復刻版)

三田千代子著

**「出稼ぎ」から「デカセギ」へ**  
—ブラジル移民二〇〇年にみる人と文化のダイナミズム—

一九〇八年に始まるブラジル移民から二〇〇〇年。本書は、この二〇〇年のブラジルと日本との移民の社会文化史を追うことによって、去りし者へ出移民と、来たりし者へ入移民による、ヒトの移動によってもたらされた文化のダイナミックな変容を考察した好著!

- A5判・並製・296ページ
- 本体価格2,000円十税
- 09年3月刊

外務省通商局編(明治40年、昭和15年刊)  
**海外各地在留本邦人職業別人口表 全5巻・附録1**

本資料は世界各地に居住する日本人についてその男女別、職業別(後に本業者、家族別)を一覧表にまとめ、何度かその形式やタイトルを変えながらも、明治四〇年以降年一回、三十年以上にわたって印刷・刊行された調査である。明治期以降の海外における日本人の活動の実態を把握するための第一級資料。移民研究、歴史地理研究等の基本文献。  
●解説(柳田利夫)付き  
●B4判・B5判・上製・総1,800頁  
●本体価格95,000円十税  
●02年11月刊(編集復刻版)

外務省通商局編(明治36年、昭和14年)  
**海外日本実業者の調査 全8巻**

外務省は日露戦争直前の一九〇三年一〇月、海外各地に在留する日本人実業者の調査を初めて実施し、その結果を『海外日本実業者ノ調査』として刊行した。海外における日本人商工業者について、この調査に匹敵する網羅的調査報告はなく、明治期後半から昭和戦前期における日本人の殖民・移民の経済活動の全貌と日本企業の海外展望が掌握できる。  
●解説(富嶋雅明)付き  
●A4判・上製・総2,498頁  
●本体価格224,000円十税  
●06年11月〜07年6月配本完結(復刻版)

蘭信三編著

**日本帝国をめぐる人口移動の国際社会学**

本書は、朝鮮、満洲、樺太、台湾、南洋を舞台として、複雑に展開された(人口移動)の諸相を、国際社会学の視角から総体として捉えようとしたものである。

- A5判・上製・898頁
- 本体価格8,000円十税
- 08年6月刊

佐々木敏二著  
**日本人カナダ移民史**

本書は、戦前、カナダへ渡った「日本人移民」の歴史を、滋賀・和歌山両県を中心として、出移民と移住地での定住過程を結びつけ、体系化した。著者の永年の実証的研究成果が結実した労作。  
●A5判・上製・304頁  
●本体価格6,000円十税  
●99年8月刊

龍谷大学社会科学研究所叢書 第45巻  
戸上宗賢編著  
**交錯する国家・民族・宗教**  
—移民の社会適応—

グローバル化した二〇世紀の移民・移住現象を国家、民族、宗教そして教育などの側面から考察した共同研究書。執筆：戸上宗賢・李洙任・柴井輝子・木村健一・横山勝英・島田法子・飯野正子・小島勝  
●A5判・上製・288頁  
●本体価格4,600円十税  
●01年5月刊

坂口満宏著

**日本人アメリカ移民史**

二〇世紀前半、日米開戦に伴う日系人の強制収容直前までのアメリカ合衆国西北部に形成された日本人移民社会の展開と消滅の過程を歴史の流れのなかで多角的に考察した書。  
●A5判・上製・340頁  
●本体価格6,500円十税  
●01年11月刊

立命館大学日系文化研究会編

**戦後日系カナダ人の社会と文化**

多文化主義社会カナダの戦後日系人の抱えた政治的・文化的問題を、組織・祭り・言語・文学・メディア等を通して多角的に追及。執筆：坂口満宏・佐々木敏二・和泉真澄・藤田左多江・彦坂佳宣・山本岩夫・松原美恵・野崎京子。  
●A5判・上製・238頁  
●本体価格3,500円十税  
●03年7月刊

●表示価格はすべて税別。

**不二出版**

〒113-0023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話03-3812-4433  
フアクミリ03-3812-4464  
振替00160-2-94084